

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム寿生の家

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
 デイサービス

日時： R7年 11月 27日 15:00～16:15

場所： 寿生病院 6階大会議室

出席者
 （人数）

利用者代表	0人	有識者	2人
利用者家族	7人	高齢者あんしん支援センター職員	0人
地域住民の代表	2人	出雲市職員	1人
その他（事務長、管理者、GH介護リーダー、DS介護主任、DS介護職）			5人

1、利用者様状況報告（11月25日現在）

グループホーム

利用者数：桜棟9名 梅棟9名（男性1名 女性17名）

介護度分布：桜棟 要介護1:4名 2:4名 3:1名 4:0名 5:0名

梅棟 要介護1:4名 2:4名 3:1名 4:0名 5:0名

平均介護度：桜棟 1.7 梅棟 1.7 全体平均 1.7

平均年齢：桜棟90.7歳 梅棟91.3歳 全体91.0歳（最高齢105歳 最年少84歳）

待機者：24名

入退所：前回の会議以降なし

在所期間：4ヶ月～19年1ヶ月

デイサービス

利用者数：男性：9名 女性：26名 計：35名

介護度分布：要介護1:18名 2:10名 3:3名 4:0名 5:0名

要支援1:0名 2:3名

事業対象者：1名

平均介護度：1.52

平均年齢：86.9歳

利用予定：月：13名 火：14名 水：13名 木：11名 金：15名 土：12名

午睡のベッド問題があり空きがあっても受け入れにくい場合もあるが、曜日の調整などで対応している。毎月、空きの状況をケアマネ様にお知らせしている。

2、活動状況報告

＜グループホーム＞

変わらず、毎月、家だよりを作成、送付している。行事の写真や日々の介護で起こるいろいろな場面のエピソードも載せている。利用者様の笑顔や頑張って作業されている姿などを携帯で撮影するようになってからたくさんの表情が写真に残っている。便りを毎月作成することは大変だけれど、ご家族に生活の様子を知っていただきたいと思い、頑張っている。ご意見等あればいただきたいと思う。

普段の活動

ラジオ体操や棒体操、嚙下体操、リハビリ職からの助言のあった個別の取り組みも継続して行っている。この機能維持の取り組みはリハビリ職の方々からも「頑張っている」と言ってもらっている。

家事作業全般、干し柿やおやつ作り、縫い物、壁画作り（折り紙・ちぎり絵、端切れを使った

作品作りなど)、歌、塗り絵、風船バレー等のレク、戸外(庭)散歩や日光浴、芋ほり、庭の草取り、誕生会、日記を書く、買い物、自宅への外出等々個別の活動も行っている。

行事報告

10月～遠足：花の郷

桜棟は10月29日、梅棟は10月31日に花の郷へ出かけた。寿生苑のリフト車をお願いして車椅子の方も参加していただいた。ご家族で都合のつく方は現地集合で一緒に過ごしていただいた。県外から帰省の都合を合わせて参加された方もあった。「一緒に過ごせて本当に嬉しかった。幸せだった。」と、とても喜んでくださったので、そういう機会を作れてこちらでも嬉しかった。

また、外食できる利用者様とご家族、一部の職員で昼食を一緒に摂った。和やかな時間が持てたと思う。

11月～秋祭り

11月21日に開催した。朝から紅白幕や手作りした提灯などの飾りつけをして全員で気分を盛り上げた。芋をホイルで包んだりする焼き芋の準備は利用者様が担当された。

昼食はすべて職員と利用者様で手作りした。メニューは「秋のカレーライス、春雨サラダ、季節のフルーツ」で、同じメニューを職員もいただいてお祭り気分を盛り上げた。

午後は屋台風の焼き芋(外でドラム缶を囲んで温まりながら食べた)、わたがし、あてくじ、玉入れ、ボウリングで楽しんでいただいた。玉入れは後半、職員も桜棟対梅棟で行ってとても盛り上がった。

行事予定

12月27日 餅つき会

今年は普通のお餅とご飯餅、両方を作る予定としている。以前はご家族にもご参加いただき、みんなでにぎやかに食事会を行っていた。いつかまたこういうことができるようになると、ご家族と職員との距離が縮まると思っている。

1月～ 正月会

昔のお正月遊びやぜんざいなどで和やかなお正月を過ごしたいと思う。

<デイサービス>

日々、活発な活動ができるよう心掛けている。また、利用者様の出来ることや興味のある事などを把握して、要望も出来るだけ対応できるようにしている。新しいモルックやボッチャなどのゲームも加わっている。外出も度々行っていて喜んでいただいている。

行事としても毎月季節を感じていただくために行っている。遠足を10月14日と20日にバスで高速を使って石見銀山へ出掛け、昼食もお食事処を貸し切りでいただいた。

11月20、21日は秋まつりを行った。内容はこの後のスライドショーで紹介したいと思う。

行事予定

12月 クリスマス会

年越し会

1月 新年会

スペースの問題で活動やお昼寝の際にもご不便をおかけしていると思うが、知恵を絞って今後も対応していきたいと考えている。職員の顔ぶれも変わらず、チームワーク良く日々の対応ができていると思う。利用者様からもそういう評価をいただくので今後も頑張っていきたいと思う。

3. 感染対策等について

勉強会～インフルエンザ、コロナ、ノロウイルスなど感染が起こりやすい時期のため、グループホーム・デイサービスそれぞれ感染対策についての勉強会を行った。マニュアルの再確認や手の汚れとして蛍光塗料を塗り、それを洗ってどの程度残っているかブラックライトで確認した。いずれも繰り返し実践することが大事だと感じた。

施設内～手すりやテーブルなどの消毒は毎日グループホーム3回(デイサービスは2回)行い、空気清浄機や換気にも気を配っている。利用者様も手の消毒も食前や活動後など適宜行って

もらっている。

<グループホーム>

面会について

これまで居室で2名まで30分の面会となっていたが、今後、3名まで、小学生以下も可能となる。次の家だよりでお知らせする予定にしている。

ワクチン接種について

現在、ご家族の希望に沿ってインフルエンザとコロナの予防接種の対応を行い、終了した。

<デイサービス>

ご家族に感染された方がある場合、以前は自粛してもらうということがあったが、現在は過剰な自粛のお願いはしていない。ケースバイケースで対応している。

4、実習受け入れについて

今年度、グループホームは出雲医療看護専門学校、島大看護学部の実習受け入れを行った。内容的にはそれぞれではあるが、学生さんの感想は「楽しかった」「認知症の方が役割を持って笑顔で過ごされていた」「職員さんの対応を見て勉強になった」などが多かった。デイサービスは初めて出雲養護学校の生徒さんの実習を行け入れた。利用者様や職員と馴染んでおられ、たくさん活動された。

5、出雲市の運営指導について

8月にグループホーム、デイサービス共に出雲市の運営指導を受け、9月に結果が届いた。書面の記載上のことなどをご指導いただいたが、請求に関する問題はなかったので、今後も誠実な介護の提供と正しい請求を行っていきたいと考えている。

6、意見交換

<管>医療法人壽生会は理事長が交代され、理念も「心の通う医療と介護で地域の人たちと共に笑顔を分かち合う」と新たになった。また、理事長の思いは「ATM」と言われる。「明るく、楽しく、前向きに」ということなので、できるだけ頭に置いていかないといけないと思っている。

<市>スライドを見ると利用者様はもちろん、職員さんも楽しむことでそれが利用者様に伝染している、元気あふれる感じが伝わってきた。

感染症が発生している状況があるので、気を付けてほしい。

<G家1>入所して一年。おかげ様で元気に生活させてもらっている。面会に行くと笑顔で迎えてくれる。家にいる頃は鬼のような難しい顔をしていた。わがままを言っていると思うが、楽しい中で生活をさせてもらっていると思う。誕生日のお祝いも家ではなかなか出来なかったもので、ありがたく思っている。

<G家2>10月に花の郷へ遠足に連れて行ってもらい、お花の大好きな母なので、こんな花があったよと嬉しそうに話してくれた。目の微笑みを感じることができ、大切にしてもらっているのを感じた。

<G家3>3月よりお世話になっている。花の郷の遠足はあいにくの雨だったが、中止されることなく連れて行ってもらって感謝している。普段は面会が30分だが長い時間一緒に会えたので、いろいろな表情が見られた。毎月のお便りも忙しい中、家族のために作ってもらってありがたいと思っている。これからも楽しみにしている。

<管>花の郷で楽しい時間をもってもらえて良かったと思う。

家だよりについては、担当者が写真を探して選んで、コメントを入れたりして頑張って作成してくれている。ご家族からの便りに対する感想や応援がいただけると嬉しい。今後も楽しみにしてほしい。

<G家4>デイサービスのスライドを見て“デイで幸せに過ごしたんだな～”と思って“うるっ”ときた。グループホームにも慣れてきたと思う。職員さんは「ATM」で、いつ行っても「〇〇されていますよ」などと元気に話しをしてくれる。自分にとっても本人にとっても良い環境に居られることに感謝している。毎月の便りも“ご苦労だな～”と思いながらもいつも楽しみにしている。

<管>頑張って便りを作成してくれる職員に伝えたいと思う。

以前（コロナ禍前）は行事にご家族を招待して一緒に食事をしたり、お餅つきやバザー、カフェな

どを行ったり、遠足もバスで一緒に行き、一緒に食事もしていた。いつかまたこういうことを行って、ご家族と利用者様が共に過ごせる時間が持てると良いと思う。

<地1>デイサービスのベッド問題とは？これから感染症の心配もあると思うので、頑張ってもらいたい。

<D主>ベッドとスペースに限りがあり、脚や腰に問題のない方は畳で横になってもらえるが、問題があって普段からベッドを使用されている方にはベッドを準備しないとイケない。男性は必然的にベッドになるので、調整が必要となる。

<地2>デイの活発な活動について、スタッフさんが勉強され、毎回工夫もされて感心した。自分も地域の行事の企画をすることがあるので、大変さがわかる。頭が下がる。今後も頑張ってもらいたい。

<有1>スライドショーは楽しく見させてもらった。職員さん、利用者様の笑顔が自然に伝わってくる。介護報酬が厳しくなる中で次々と企画・準備され、ここまで出来てすごいと思う。自分の事業所にもデイがあるがこうはいかないと思う。日々、重ねて来たもの、職員さんの関係性の良さがあってできることだと感動した。また、こんなにたくさんのご家族が参加される運営推進会議もすごいと思う。

<管>利用者様の笑顔のため、という気持ちで本当に頑張ってくれていると思う。

<有2>初めて参加させてもらった。ケアマネを始めた頃から“困った時の寿生の家さん”という気持ちがあったが、今も変わらない。介護の必要性を職員さんがよく理解されていて、その人やその家族を大切に思って、個別のケアをしてくれていると思う。日頃から職員一人ひとりが利用者様の良いところに目を向けて、そこを引き出してくれる。“こういうことが出来ますよ”と伝えてくれるので、ご家族も安心されている。寿生の家さんをお願いすると良くなると感じている。

スライドの中でおやつの写真があったが、出来栄えがすごいと思う。食費も高い中、工夫されていると思う。職員さんも楽しんでいる様子が利用者様へ伝わっていると感じる。

<管>身に余るお褒めの言葉に恐縮している。長いおつきあいをさせてもらっていて、感謝している。

<D家1>長く通わせてもらっている。職員さんは皆笑顔で挨拶や会話もしてくれる。母は歌が好きだが、それを引き出す力があると思う。普段の仕事の上にあのような行事をしてもらってありがたいと思う。

<D家2>利用し始めて1年になる。ようやく慣れてきて自分で用意をするようになった。デイはあまり嫌がらずに行ってくれるのでありがたい。スライドで歌ったり踊ったりしている姿があったが、そういう行動が出来るように良く引き出してくれたと思う。普段の関わりから行事まで本当にありがたい。家族にも“こうしてほしい”等要望を言ってもらおうと協力していきたいと思う。今後も長くこのように過ごしていけると良いと思う。

<管>ありがたい言葉をいただいたと思う。これまで、踊りのバチや利用者様の足台など作っていただき、ずっと使用させてもらっている。感謝している。

<D家3>8月から通わせてもらっている。孫も大きくなり、家での会話も少なくなり、物忘れがひどくなってどうしようと考えていたそういう時に通うことになった。仕事をしている時にデイに行ってくれていると安心する。今回、スライドを見せてもらって感動した。いろいろな経験が出来ていることがわかり、良い機会になった。

<管>ご家族の介護負担軽減がデイの大きな意味だと思っている。要望や相談、愚痴も吐き出してもらって良いと思う。

<事>身近なところでインフルエンザの感染が広がっている。気を付けていきたい。スライドでのケーキやおやつなど本当に腕が上がっていると思う。行事も頑張っておられると思うが、ワークライフバランスは大丈夫か？

<管>準備など大変なことはある。出来るだけ勤務時間内にできるよう協力して、「この業務はやるから準備しても良いよ」という様にすることもある。

<D主>職員のメンバーは変わらず、3月から一人加わってくれて、チームワーク良くできているのでありがたいと思っている。利用者様の楽しみのため、ご家族の安心のため、という目標をみんなで共有できていると思う。今後も頑張ってもらいたい。

<Gリ>先日の秋祭りでも、職員が楽しむことで利用者様も一緒に楽しむことが出来ていると思う。日々、いろいろなことがあるが頑張っていきたい。

<D 介>3 月から入職した。これまで他のデイサービスでの勤務経験もあるが、ここまでの活発な活動はなかった。今は、チームの一員として、自分も一緒に楽しみながら仕事が出来ていると思う。今後は一皮も二皮も脱げるよう頑張っていきたいと思う。

<管>たくさんの貴重な感想を聞かせていただき、ありがたく思う。今後も頑張っていきたい。

以上